

anemone

2010 February
No.171

2

定価870円
[本体829円]



特別
付録

「飾るだけで良いことが起きる」と大評判!
若月佑輝郎さんの
幸せを呼び込む開運書画

特集

あなたの明日が変わる、人生が変わる

運気上昇! 大開運

大人気スピリチュアルリーダー
若月佑輝郎さんに教わる

強運を手に入れる
2010年の開運術

徳分を増やして願望成就!
天職を得る究極の開運法

「Be Do Have」の法則で
軽やかに幸せになる

琉球風水師・島袋千鶴子さんが開運指南
2010年の運気アップは
お茶碗5円玉と脳力開発で決まり!

日本人唯一の現役道士が秘伝を公開!
天運をつかむ道教の開運術

人生を変えた烏枢沙摩明王様との出会い
トイレの神様のくれた宝物

生命力を取り戻し、開運へと導く
宇宙の根源と繋がる
ヒーリング

『地球交響曲 第七番』の公開迫る!
地球・自然・人々が織り成す
ハーモニック・ドキュメンタリー最新作

人間関係の悩みを解消!
自分磨きの方法が分かるメソッド
「四魂の窓」

シッターマスター

俳優

ヨグマタさん×三上博史さんの
新春スピリチュアル対談



インド政府公認シッターマスター 俳優

ヨグマタさん × 三上博史さん

新春スペシャル対談

前編

心を空っぽにすると真の豊かさが見えてくる

ヒマラヤの大聖者ハリババに師事し、厳しい修行を経て、意識の究極段階「真のサマディ」に到達したヨグマタさん。今号では俳優の三上博史さんをごゲストにお招きし、お二人の対談をお届けします。演技派として知られ、その魅力と圧倒的な存在感で常に輝いている三上さん。一方で、ピュアな探究心から真理を求め、学んでいらしたそうです。異色とも言える顔合わせのお二人から、果たしてどのようなお話が展開するのでしょうか？

取材・文◎中野洋子 取材協力◎サイエンス・オブ・エンライトメント、ディグ・カンパニー 撮影◎戸塚博之
三上博史さん衣装協力◎アダム エ ロベ白金台本店 (Tel 0120-298-133)

忙しい心のスイッチを
いったんオフにすることが大切

三上 僕はこれまで、物理的な意味でも肉面的な意味でも、長い長い旅をしてきました。そんな中で、ヨグマタさんの著書「心を空っぽにすれば夢が叶う」(講談社インターナショナル)を読んだ時に、心に響くものがあり、非常に感銘を受けて、ぜひお会いしたいなと思ったんです。ヨグマタさんはこれまでいろんな所を旅され、いろんな経験をされてヒマラヤに辿り着き、聖者に到達されているわけですが、今、世界がどうなっているかと捉えていらつしやいますか？

ヨグマタ 文化、経済、技術など、あらゆる面で社会が発展し、今はとても便利な世の中になっていますね。物も豊かになって、欲しい物がすぐ手に入るし、やりたいこともやれます。

一見、幸せなんですけれど、一人ひとりの心の中では混乱しているというのが現状ではないかしら。私たちは常に外側ばかりを見て、次々に新しいものを追い求め、作り出すことを続けてきた一方で、年々環境破壊が進んでいることも事実。「本当の幸せや豊かさって何だろう?」と、ようやく私たちの意識が向き始めているんです。

三上 物を欲しがるというのは、人間の本能なんじゃないですか? 僕が思うに、周りを見てはあの人が持つてるから自分も欲しいとか、自分もこうなりたいとか人と比べてしまうことが根本的に苦しみを生んでしまうような気がするんです。

ブレイン……いろいろな捉え方がありますよ。

ヨグマタ ッマインドという言葉が、精神とか意識という意味もあって一番近いですね。ハートというのとは心の奥にあるの。「ハートが開く」と表現するけれど、心を超えたところに純粋な愛があります。瞑想することによって、好き嫌いという偏りや執着の愛ではなくて、「ただ愛である」という状態になります。

私たちは抱え込んでしまいがち。だから、意識的に手放したり、与える、喜ばせる練習をすると、無心になり、純粋な愛の状態になっていけるんです。インドの人々は、神様を喜ばせるために愛を捧げていきます。神様を100%信じて、さらに愛が大きくなって自分に返ってくるんです。ところが人に対する横の関係だと、ギブアンドテイクの愛だから、見返りを期待してしまうんですね。三上 なるほど、大いなるものに向けた愛は枯渴しないし、使えば使うほど満ちてくる気がしますね。ギブアンドテイクの愛だと、使うほど減ってしまう気がします。

では、魂というものはどういうところにあつて、またどのように捉えたいらいいんでしょうか？

ヨグマタ 「本当の自分」と表現するとわかりやすいと思うんですが、宇宙の大いなる創造主、神様と繋がっている、いわゆる「神の分身」ね。私たちは皆、この一生をかけて、本当の自分に還っていくのが人生の目的でもあるんです。

ヨグマタ そうですね。私たちのマインドは、人と自分を無意識のうちに比較してしまっているところがあるんです。自分の不足している部分に意識がいき、それを充足させようとするけれど、ひとつ手に入ればまた次が欲しくなり、どこまでもいつても心は満たされません。三上 じゃあ、どうしたら幸せになれるのかって考えた時、一般的には自分の心を充実させようって発想しちゃうものですが、ヨグマタさんの著書に「心を空っぽに」とあって、目から鱗だったんです。逆のように見えて、実はそれが秘訣なん

でしょうか? ヨグマタ 空っぽの中に、実は豊かさがあるんです。私たちの心の中には、あらゆる知識や情報であふれ、過去の出来事にとらわれたり未来に対する不安を抱いたり、混乱している状態。どうでもいいことにこだわっていて、そちらにエネルギーが流れて、目の前のことに集中できなかつたり。いつも何かにエネルギーが引っ張られて、消耗し続けているのですごく疲れてしまうの。私たちの心はスイッチオンになりっぱなしだと、消耗が激しくて、シ

心の中を空っぽにすることが 幸せになる秘訣と知り、目から鱗でした。

三上博史

みかみひろし◎東京都出身。寺山修司監督映画「草迷宮」でデビュー。映画「私をスキーに連れてって」、テレビドラマ「君の瞳をタイホする!」で一躍人気を集める。以後、多数の映画やTVドラマに主演し、多彩に難しい役柄もこなせる演技派として認知される。WOWOW初の連ドラ「ハンドラ」は国際ドラマフェスティバルのグランプリなど数々の賞を受賞。舞台では、蜷川幸雄演出「あわれ彼女は娼婦」、宮本亜門演出「音楽劇 三文オペラ」などに出演、高評価を得ている。

ヨグマタ 心を使わない状態を意識的に作る必要があります。空っぽにすること無になることが大事なわけです。

魂は神と繋がる本当の自分を 心に空にする体験できる

三上 この「心」とは英語で言うところのなるんでしょね。マインド、ハート、



う卒業しました。今は僕がどうこうよりも、「見てくださる方がどれだけ楽しんでくださるか」という想いで演じてますね。

ヨグマタ 自分を減しているのですか。

三上 うーん、減しきれてないかもしれないですけど(笑)。

ヨグマタ みんなへの愛でしょう？

三上 そうです！

ヨグマタ 今は精神的なゆとりがあるんですね。自分だけに一生懸命だとそこまではないですか。

三上 山あり谷ありで30年間この仕事をやってきて、いろいろ大変な時期もあったりして、「何のためにやっているんだらう？」って考えにも行き着きました。そうした時に、「じゃあ、人に喜んで

もらう」って思ったんです。辛い日常を一瞬忘れてもらう、劇場を出た瞬間元気があふれるようにしてあげよう。それは確かに愛なんです。愛であり、そうすることによって僕の明日の糧にも繋がるわけで……(笑)。

ヨグマタ いいエネルギーを出したら、それが戻ってくるという循環があるわけですね。喜びが返ってくるんでしょう？ 素晴らしいことですね。

三上 そうなんです。お客さんに受け入れられて返ってくるエネルギーがあるから、翌日もまた頑張れる。でないと続けられないです。

すべてを委ねたら楽になる
何でも楽しむことで幸せに

ヨグマタ お客さんのためにという気持ちでいると、エネルギーが上手に使われていくもの。人の喜びを見返りとして、それが自分の中のエネルギーとして循環していきます。

三上 映像よりも舞台の方が、ダイレクトにそれを感じられるところはありますね。仕事に関しては、かつては、あれが欲しいと思ったら、それに向かって一生懸命に突き進むのが僕の生き方だったんですが、頑張れば頑張るほど、苦しくてヘトヘトになってしまっただけ。

5、6年前、自分の欲求や願望を捨てちゃったんです。「僕を役者として必要とするのであれば、宇宙なり神なり天が与えるだろう。もうすべて委ねよう」って。そう心が定まったら、少し楽になっ

と、違和感なくボンと口から言葉が出てくることあるんです。表現はよくないかも知れませんが、傀儡みたいな感じですね。

ヨグマタ 舞台は、特に集中力がいるでしょうね。

三上 その日その時、舞台を見に来てくださったお客さんとは基本的に一期一会。だから、その2時間をどれだけ共有できるかというのが、僕にとって勝負なんです。お客さんの「気」まではわからないけれど、場の空気はわかります。例えば、「多少緊張してるな」とか、「すごくゆったりしてるな」とか、「構えて見てるな」というふうには……。

その時々で空気を感じて、じゃあ、自分はどう表現しようかと考える。空気が張りつめていようなら、ちよっとジョークを言ってお客さんを笑わせて、和らげようってことを自然にしていますね。瞬間瞬間に感じて自己表現しているってことかな。だから、自己満足はも

たんですよ。ヨグマタさんがおっしゃるサレンダー(※)とは次元が違うのですね。その足元ぐらいのサレンダーには行ってるのかなと思って(笑)。

ヨグマタ さすがさま、あるがままに任せるようになって、ずいぶん楽になりました。今はニュートラルな感覚で現実を受け入れているんですね。

三上 物理的に体はひとつしかないのに、今できることをチヨイスしなければならぬ時はありますけど。現在は、すごく楽しいです。

ヨグマタ これからは全体になる修行をしていくといいんじゃないかしら。オールマイティに、全能全体になるように、やったことのない役を、どんどんやってみるといいですよ。

三上 何かを極めるとい意味では、そうそうできるとは思えないけれど、「何でも楽しめる」という気持ちはありますね。

ヨグマタ 極めようと思った瞬間、極まります。努力しなくても、そう思っただけで、その役になりきれますよ。いろいろな役ができるでしょう。神様の役とかシヴァ神の役でダンスを踊るなんて素敵じゃないかしら(笑)。

三上 神様の役ですか。世界には、いろんな神様がいらっしやいますもんね。

ヨグマタ 聖者の役とかは、どうですか？

三上 いや、聖者の役はちよっと恐いですね(笑)。聖フランチェスコの役とか来たなら、どうしようと思えますもん。なかりきりすぎてこの次元に帰ってこれないかも(爆笑)。

ヨグマタ きつと素晴らしいでしょうね。海を越えて活躍されることでしょうか(笑)。(次号に続く)



Information

ヒマラヤシッダー秘教ベーシック

ヒマラヤシッダー秘教は、光のエネルギーをコントロールし、ヒマラヤ聖者のブレスシングとともに行われる実践的な秘法。速やかな浄化と進化をもたらすヒマラヤからのギフトとして伝授されます。(※ヨグマタさんの直接指導ではありません。)

日時:東京 1月11日(月・祝)・17日(日)・31日(日)
2月7日(日)・14日(日)・21日(日)・27日(土)
神戸 2月6日(土)
※他、月に2~3回開催

●アヌラハダラシヤン(ヨグマタさんとの聖なる出会い)
東京 1月11日(月・祝)・2月7日(日)・2月21日(日) 神戸 2月6日(土)
●サマディディクシャI(ヨグマタさん直接の秘法伝授)
東京 1月11日(月・祝)・2月7日(日)・2月21日(日) 神戸 2月6日(土)
サイエンス・オブ・エンライメント(東京、目黒)
TEL 03-5773-9870(受付時間:12:00~21:00)
http://www.science.ne.jp

『ヒマラヤ聖者の超シンプルなさとり方』

ヨグマタ相川圭子著
徳間書店 / 1,470円(税込)

ドライ・ラマ14世やネパール大統領も推薦する、ヨグマタさんの最新刊。意識の究極段階「真のサマディ」に到達したヨグマタさんが、究極の悟りに至る道をわかりやすく説き明かします。

私たちは心が自分だと思いいこんでいて、心を常に使っていないと不安になってしまふもの。心は磁石のように強い力であらゆるものを引き寄せてしまうので、静かに内面を見つめることができず、自分の真ん中に留まること、今この瞬間にいること、空になることがとっても大事なんです。

三上 なるほど。魂を感じられるようになるうえでも、一つひとつ心を外していったら、シンプルになることが近道なんですね。

ヨグマタ 心が空っぽになり、高次元のエネルギーに繋がって一体になっていくと、いろいろなものは自然と落ちていきます。至高なる存在に自分が溶け込んでいくと、無の状態になるのです。ひたすら静寂であり、「ただ愛である」という存在の喜びが感じられる。そして、必要なエネルギーは内側から湧き上がり、まるで生まれ変わったような感覚になります。本当の自分になるという体験、つまり「悟り」の体験を、ヒマラヤ秘教の瞑想を行うことで、かいま見ることができるとです。

例えば、ある役が決まった時に、毎朝の珈琲を飲む習慣をやめてみるとか、自分がしないことをしてみるとか。この自分を封じてみるという意図的にやってみると、本当の自分が逆に見えてくることありますね。

ヨグマタ 自分を空っぽにすることを、意識的にやってみていらしたんですね。

三上 この体だけを残して中身をどんどん外していったら、その状態で演じる人物の台詞が書かれていく台本を何度も読む

と、違和感なくボンと口から言葉が出てくることあるんです。表現はよくないかも知れませんが、傀儡みたいな感じですね。

ヨグマタ 舞台は、特に集中力がいるでしょうね。

三上 その日その時、舞台を見に来てくださったお客さんとは基本的に一期一会。だから、その2時間をどれだけ共有できるかというのが、僕にとって勝負なんです。お客さんの「気」まではわからないけれど、場の空気はわかります。例えば、「多少緊張してるな」とか、「すごくゆったりしてるな」とか、「構えて見てるな」というふうには……。

その時々で空気を感じて、じゃあ、自分はどう表現しようかと考える。空気が張りつめていようなら、ちよっとジョークを言ってお客さんを笑わせて、和らげようってことを自然にしていますね。瞬間瞬間に感じて自己表現しているってことかな。だから、自己満足はも

愛を表現するほど、相手の喜びが返ってきて、自分の中のエネルギーとして循環していくんですよ。

ヨグマタ相川圭子

ヨグマタあいかわけい◎35年にわたり、NHK文化センター、朝日カルチャーセンターなどで、ヨガや瞑想を監修指導。1985年に、ヒマラヤの大聖者であるハリババに師事。ヒマラヤでの厳しい修行を経て、意識の究極段階「真のサマディ」に到達。インド政府、および聖者協会より「サマディ・マスター」「現代瞑想の母」の尊称を与えられる。2007年には、インド最大の2千万人の聖者・行者協会「ジュナ・アカラ」より最高指導者の称号「マハ・マンドレジュワリ」(=偉大なる宇宙のマスター)を女性初、また外国人として初めて授けられる。主な著書に「心を空っぽにすれば夢が叶う」(講談社インターナショナル)、『ヒマラヤ聖者の超シンプルなさとり方』(徳間書店)がある。現在は、ヒマラヤ秘法の数々と瞑想秘法を伝授しながら、心と体を真の解放で癒し、人々を悟りに導いている。



インド政府公認シッターマスター

ヨグマタさん × 三上博史さん

俳優

新春スペシャル対談

ヒマラヤの恩恵と繋がり、軽やかに道を歩む

後編



初顔合わせにも関わらず、和やかに会話が弾んだ
前回の三上博史さんとヨグマタさんの新春対談。

今回は、演じることで多くの人を楽しませ、勇気づけたいと語る三上さんに、
役者としてのさらなる成長を期待する、聖者ヨグマタさんから励ましのアドバイスが。
生き方から、理想的な死についてまで話は及び、充実の時間が流れたのでした。

取材・文◎中野洋子 取材協力◎サイエンス・オブ・エンライトメント、ディグ・カンパニー 撮影◎戸塚博之
三上博史さん衣装協力◎アダム エ ロベ白金台本店 (Tel 0120-298-133)

頑張るとエゴに繋がる
軽やかに楽しむのがコツ

三上 日本人って、成果を得るために一生懸命に頑張るところがあると思うんですが、ヨグマタさんはご著書で「頑張りすぎるのもよくない」ということをおっしゃっていますよね。天と繋がってれば、無理に頑張る必要もないと。

確かに、頑張れば頑張るほど「自分はこんなに頑張ってるのに評価されないの」というエゴが出てくるように思います。ヨグマタ 頑張ること自体は悪くないのですが、おっしゃる通り、自分を認めてほしいというエゴが出てきてしまうのです。

頑張った分は、すべて自分のスキルや肥やしに本当はなっているだけけれど、どうしても損得でとらえてしまったり、頑張りすぎて心身が疲れてしまうこともあります。力を抜いて爽やかに、何でも楽しめるという心ですね。心を一度ニュートラルな状態にしてあげると、物事が整理され、

こだわりが消えて、無駄なエネルギーを浪費しなくなります。

三上 そうできたらいのですが、今の社会を見ると、生活の糧として人との競争に苦しみながら、必死に働いて生きていく方が大勢いると思うんです。

ヨグマタ 多くの日本人は、信仰するものが自分の中で確立していないので、自分の信念というものが曖昧です。その点、インドの方はみな神様に繋がっているのですね、あらゆることが学びだと思えるのです。不幸な状況になったら、「それは過去生で自分が何かしたから償いだ」と自然に受け止めることができるんですね。

三上 意識がそこまでいけばいいのでしようが、実際のところ日本では「今苦しいのは過去生でカルマを作ってしまったから。自分のせいではない」と言い訳にして、現状を愛で克服していくところまでいかない人が多い気がします。

ヨグマタ そういう人は、自分が悪いと認めてしまうと、落ち込んで苦しくなってしまうんですね。本当はすべて自分の心が作り出しているの、気づきを持って現実を見つめていくことが大切なのです。私たちは普通にしている、常に目や耳から情報が入ってくるので、それに振り回されてしまいがち。

いったん目や耳を閉じて情報をシャットアウトするという瞑想を通して、自分の内側を見つめ直す必要があるわけですね。意識的に心を鎮めて、内側のエネルギーを整えないと、マインドはすぐに苦悩の方に流れて、次から次へと心配や悩み事を作り出してしまっているんですね。



三上博史

みかみひろし◎東京都出身。山田修司監督映画「草迷宮」でデビュー。映画「私をスキーに連れてって」、テレビドラマ「君の瞳をタイホする!」で一躍人気を集める。以後、多数の映画やTVドラマに主演し、多彩に難しい役柄もこなせる演技派として認知される。WOWOW初の連ドラ「バンドラ」は国際ドラマフェスティバルのグランプリなど数々の賞を受賞。舞台では、経川幸雄演出「あわれ彼女は娼婦」、宮本亜門演出「音楽劇三文オペラ」などに出演、高評価を得ている。

最期の時が来たら、
何の執着もなく満足して
「じゃ、さよなら」と逝くのが
僕の唯一の願いなんです。

ヒマラヤの恩恵によって
悟りの道に歩む

三上 ヨグマタさんがヒマラヤ聖者に辿り着くまでは、非常に長い旅だっただろうとお察しします。ヨガから入り、世界各地を旅して多くの人に出会い、様々な体験をしてさらに自分の奥を探求していくという……。

ヨグマタ そうですね。私自身は遙かに長い旅でしたけれど、今は皆さんを超越急でそこまで連れて行ってあげることが出来ますよ(笑)。

今の自分でOKなら
満足な最期を迎えられる

三上 僕はたったひとつの願いがあつて、死ぬ時にスコーンと逝きたいんですよ。今がその時だと自分で悟ったら、「じゃ、さようなら」って去りたいと思うんですよ。

ヨグマタ 「いつ、どんなふうになら」って、死は自分で決められるのです。十分満足に生きたら、きつとできるでしょう。

三上 執着もないでしょうしね。
ヨグマタ 「今の自分でOK」と言える毎日を送ればいいのです。その延長線に死があるわけですから。死に方は教えてあげますよ(笑)。

三上 (爆笑)そうか、修行ですね。
ヨグマタ 肉体やマインドを外し、自分の自分と一体になる瞑想を通して、みんな

三上 確かに(笑)。でも僕は本を読んだ時、「そんな合理的なことではないの？」って疑問に思ったんです。

ヨグマタ 一気に自動的に悟れるというわけではなく、そういう世界があるというのを垣間見せてあげるわけですから、深いトランスを体験できるのによって、深いトランスを体験できるので、苦しみが全部溶けて、生まれ変わったような感覚になります。高次元のエネルギーを伝授しますので、そのエネルギーと一体になるとマインドがシフトして、すごくポジティブになり、エネルギー

な死ぬ練習をしているんです。でも、三上さんはまだまだ先のこと。大事なのは、死ぬことよりいかに生きるかですからね。
三上 はい！ その通りです。
ヨグマタ 今後はどんなことをしていきたいのかしら？

三上 すべては天に委ね、お任せという意識なんです。来た仕事で、今まで毛嫌いしてたり、やってこなかったことでも、その時やってみようかと思つたら飛び込んでみようかと。何であれ自分は楽しいので、見てくださる方に楽しんでいただくことを願っています。

ヨグマタ これからは、悟りの道も目指されるというかも知れませんが、様々な

「今がOK」と言える毎日を送れば、
きつと満足できるはず。
今後は多くの人を、
愛の光で照らしていけるでしょう。



ヨグマタ相川圭子

ヨグマタあいかわけ◎35年にわたり、NHK文化センター、朝日カルチャーセンターなどで、ヨガや瞑想を監修指導。1985年に、ヒマラヤの大聖者であるハリババに師事。ヒマラヤでの厳しい修行を経て、意識の究極段階「真のサマディ」に到達。インド政府、および聖者協会より「サマディ・マスター」「現代瞑想の母」の尊称を与えられる。2007年には、インド最大の2千万人の聖者・行者協会「ジュナ・アカラ」より最高指導者の称号「マハマン・レシュワリ」(=偉大なる宇宙のマスター)を女性初、また外国人として初めて授けられる。主な著書に「心を空っぽにすれば夢が叶う」(講談社インターナショナル)、「ヒマラヤ聖者の超シンプルなたり方」(徳間書店)がある。現在は、ヒマラヤ秘法の数々と瞑想秘法を伝授しながら、心と体を真の解放で癒し、人々を悟りに導いている。

の混乱した状態がワンネスに整理されて楽になっていくのですね。
一歩一歩自分でやっていくと、大変で時間もかかるけれど、ヒマラヤ秘教の恩恵を受けて良いエネルギーと繋がることで、楽にスムーズに学びを進められるのです。元の状態に戻っても、一度深く繋がった体感があると思う感覚を変えられます。
三上 それは誰もが感じられるものですか？
ヨグマタ そうですね。素直な人はね。
三上 素直な人か(笑)。そこがポイントなんですね。
ヨグマタ だから、子供は早いです。大人はごちゃごちゃ考えてしまいがちですが、しつかり修行していくと誰もが変わっていきます。洗脳するわけではなくて、内面からエネルギーが変わっていくということなのです。

もつと愛を表現したら
多くの人を癒していける

三上 何が具体的に変わった自分かというのを感じられると、とってもわかりやすいんですが……。
ヨグマタ ヒマラヤ秘教には知恵があり、パワーがあるので、それは純粋に感じられますよ。高次元のエネルギーをいただくこと、恐れものなしで、自分を信頼して進んでいくことができますし、さらに自分が成長拡大していきます。三上さんの可能性が溢れてくるので、どんどん新しいことに挑戦していくことができるでしょう。

ヨグマタ 俳優というのは、素晴らしいお仕事ですね。神に捧げるために踊るエネルギーが内面にあるので、愛の人、光の人、風の人というように、想いのままになりたい人になれるでしょう。
三上 僕自身は光の人になりたいと思つて、光を与えるというのではなく、闇を照らしてあげようかな……。見たくないからと隠してしまつた過去の痛みや、汚いと思つて抑え込んでしまつてその人の一部分を光で照らして見せて、解放していくサポートをしたいですね。

ヨグマタ 光を伴つた愛で照らしていくと、人々は安心して自分を見ることが出来るんです。自分の力だけではエネルギーが途切れてしまうので、天としっかりと繋がって、お任せで発していくのがいいでしょうね。見返りを期待せず、「自分は単に光の通り道だ」という謙虚な気持ちが大切です。
三上 そうですね。最後に、これから先、すべての人がどんな意識で日常を送つた方がいいか、アドバイスをお願いします。
ヨグマタ 古い枠組みや体制が崩れていき、さらに良い方向に変化していく時です。あらゆる出来事は成長のために与えられるので、自分を信頼し、日々気づきを持って過ごしていくことが大切です。

「ヒマラヤ聖者の超シンプルなたり方」

ヨグマタ相川圭子著
徳間書店/1,470円(税込)
ドライ・ラマ14世やネパール大統領も推薦する、ヨグマタさんの最新刊。意識の究極段階「真のサマディ」に到達したヨグマタさんが、究極の悟りに至る道わかりやすく説き明かします。



Information

ヒマラヤシッダー秘教ベーシックコース

速やかな浄化と進化をもたらすヒマラヤからのギフトとして伝授。光のエネルギーをコントロールし、ヒマラヤ聖者のブレンディングとともに進みます。(※ヨグマタさんの直接指導ではありません)

日程:東京 2月13日(土)・14日(日)・20日(土) 3月7日(日)・28日(日)※他、月に3~4回開催

- アサグラハダラシヤンコース(ヨグマタさんとのお聖なる出会い)
- サマディディクシャコース(ヨグマタさん直接の秘法伝授)

日程:東京 2月20日(土)、3月28日(日)
※上記の3コースはすべて、下記の都市でも開催されます。
札幌 4月4日(日)/名古屋 4月10日(土)
神戸 4月11日(日)/福岡 4月中旬予定

お問い合わせ サイエンス・オブ・エンライトメント(東京、目黒)
TEL 03-5773-9870(受付時間:12:00~21:00)
http://www.science.ne.jp